

# 平成22年度 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

## 1. 実施事業一覧

平成22年度は、支援協力事業として9事業、調査研究事業を9事業を実施した。

定款の 事業名	事業計画（平成22年5月時点）			事業報告（平成23年3月現在）			
	事業名	実施予定 箇所	収入 見込額 (千円)	事業名	委託者	委託・補助 額(千円)	内容
支援 協力	西和賀エコミュージアム事業 ＜継続＞	西和賀町	410	1) 西和賀エコミュージアム事業 地元学実施 指導業務	西和賀町	449	毎年、継続で地元学から地域づくり計画の策定まで実践支援を行っている。今年度は、若畑地区（継続）と湯之沢地区（新規）において地域づくりの実践の支援と地域づくり計画策定の支援を行った。
	花巻市東和町浮田地区の地域 計画策定支援	コミュニテ ィ会議	200	2) 浮田地区コミュニティ会議地域計画策定支 援業務	浮田地区コミ ュニティ会議	125	コミュニティ計画策定に向けて、集落単位で地域の課題や取り組みたいことなどの意見をワークショップ形式で実施し、意見や取り組みの方向性を取りまとめた。（計5地区）
	盛岡市玉山区の生活交通確保 支援＜継続＞	盛岡市	200	ナシ			
	花巻市立谷内小学校の跡地活 用の住民検討支援＜継続＞	コミュニテ ィ会議	200	3) 花巻市立谷内小学校の跡地活用の住民検討 支援	東和東部地区 コミュニティ 会議	90	昨年度に引き続き、小学校の跡地施設に関する提案・提言書の取りまとめワークショップを開催した。
	田野畑村明戸地区の地元学実 践支援	明戸自治会	120	4) 田野畑村明戸地区の地元学実践支援		120	明戸地区のこれからの地域づくりを進めるためのスタートとして、集落点検を実施し、活動案への投票や収穫祭などのイベント事業を開催した。
	内田ため池等生態系環境学習 会委託業務	奥州市	200	5) 内田ため池等生態系環境学習会委託業務	奥州市	200	圃場整備後に残したため池の維持管理を、学生が主体となって取り組む活動支援を事務的な作業をサポートした。
				6) 地域づくり講座開催業務委託	北上市	237	昨年度策定した地域計画のアクションプラン作りをサポートするために、16地区の3回の講座と情報交換会を開催した。
				7) 盛岡市永井地区児童公園グラウンドワーク 業務	盛岡市	330	永井地区の高槽児童公園をグラウンドワークの再整備に取り組むための勉強会を開催し、検討会の立ち上げを行った。
				8) 海と里のセミナー開催支援事業	浮田崎浜地域 振興協議会	92	平成20年度からスタートしている里と海の集落の交流事業の一環として、「交流からうまれる食と地域づくり」と題して、料理研究会や車座トークを開催し、今後の活動の方向性を模索した。
				9) 提案公募型県民協働モデル事業	岩手県	1,000	交流人口の増加と定住促進による地域活性化のため、葛巻町冬部、西和賀町小繁沢、田野畑村明戸の3地区を対象に、故郷出身者名簿の作成と、故郷の情報や特産品を届ける情報誌の発行と郵送を行なった。
				(小計)	2,643		

定款の 事業名	事業計画（平成 22 年 5 月時点）			事業報告（平成 23 年 3 月現在）			
	事業名	実施予定 箇所	収入 見込額 (千円)	事業名	委託者	委託・補助 額(千円)	内容
調査 研究	田野畑村総合交通体系検討<継続>	田野畑村	2,000	10) 田野畑村の公共交通活性化再生支援事業	地域公共交通 活性化協議会	3,040	地域公共交通活性化再生・総合連携計画の事業実施の 2 ヶ年目として、総合バスの導入やデマンド型交通の運行実態の把握、住民アンケート調査等を実施した。
	十和田市公共交通利用促進支援<継続>	十和田市	3,000	ナシ			
	北上市地域公共交通活性化再生総合連携計画策定支援<継続>	北上市	3,000	13) 北上市地域公共交通連携計画策定調査事業	北上市公共交 通会議	2,991	まちなかバスターミナルやバス路線の体系化に向けた実態調査、効果分析、観光と観光二時交通の実態調査、および総合交通体系実施計画案の策定を行なった。
	西和賀町地域公共交通の再生検討支援<継続>	西和賀町	500	ナシ			
	広域交通に関する県の事業評価（岩手県協働型事業評価）	岩手県	530	14) 平成 22 年度県民協働型評価業務（広域路線に対する運行維持・改善）	岩手県	531	県が実施する公共交通の維持・確保と利用促進の評価調査として、市町村へのヒアリング調査、視察研修及びワークショップを開催し、県を含めた関係各団体が行うべき役割や事業提案をまとめた。
				15) おいらせ溪流の交通量調査	首都大学東京	80	奥入瀬溪流では、環境に配慮してマイカー規制を行っており、その効果検証のための交通量調査の実施支援を行った。
				16) 「七戸十和田駅」を中心とした公共交通時刻表作成業務	上十三地域広 域市町村協 議会	2,190	東北新幹線「七戸十和田駅」開通に伴う二次交通の利用促進のひとつとして、利用者にわかりやすいバス時刻表を作成した。
				17) 七戸十和田地域乗り物・観どころマップ製作業務	七戸十和田地 域公共交通会 議	916	東北新幹線「七戸十和田駅」開通に伴う二次交通の利用促進のひとつとして、乗合タクシー利用のためのパンフレットを作成した。
				18) 七戸町乗り物・お出かけマップ製作業務	七戸町地域公 共交通会議	643	七戸町コミュニティバスの利用促進のひとつとして、利用者にわかりやすい路線マップと時刻表を作成した。
				19) 七戸十和田駅南駅前広場二次交通サイン製作業務	七戸町地域公 共交通会議	3,728	東北新幹線「七戸十和田駅」開通に伴う二次交通の利用促進のひとつとして、駅前広場に設置するサインのデザインを行なった。
				20) 地域生活交通再生ミSSIONナリー育成・活動業務の内、住民アンケートデータの入力・集計補助	社団法人北海 道開発技術セ ンター	200	八戸市内の公共交通の利用促進を実施するMISSIONナリーの育成に関するアンケート調査支援を行った。
				21)十和田公共交通チケット発行業務	十和田市	47	十和田市公共交通の利用促進業務として発行していた公共交通チケットの、増刷に関する支援業務を行なった。
					(小計)	14,366	
		13,320			17,009		

## 2. 主な事業の紹介（支援協力事業）

### ① 西和賀エコミュージアム事業

西和賀町が取り組むエコミュージアム事業への支援を今年度も引き続き実施した。本業務では、毎年、継続1地区と新規1地区において地元学等の支援を実施することになっており、平成22年度も継続地区（若畑地区）と新規地区（湯之沢地区）において支援事業を実施した。

若畑地区においては、平成22年3月に地域づくりを取り組む組織として、自治会とは別に「若畑里づくり委員会」を立ち上げた。これまでの実践事業を継続して、①お宝の看板、標柱づくり、②「豆ぬすみ」の開催、③防災収穫祭の実施を実施した。また、平成23年から3ヵ年にわたる地域づくり計画をワークショップや夢語りの会を開催した上で策定し、今後も町の助成を受けて、地域づくりに取り組んでいく体制が作られた。

湯之沢地区は、地元学を開催、地域づくり計画を策定した。

#### [今後の予定]

若畑地区では、お宝マップから、地域のマップを作成する予定である。また、湯之沢地区では、地域づくり計画に基づき、実践に取り組む予定である。

#### [若畑地区の実践]

9月22日 豆ぬすみ



11月9日 防災収穫祭



2月13日 夢語り会



#### [湯ノ沢地区の取り組み]

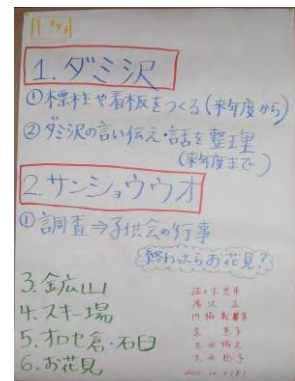
8月26日 地元学



10月1日 お宝マップ作成



12月1日 お宝改善活用策



## ② 提案公募型県民協働モデル事業 ～ふるさと応援団づくり～

当センターでは、地元学から実践へつなげる地域づくりに取り組んでいるが、継続的に地域に関わっていくことには限界がある。そのような問題意識から、県の助成事業を受け、集落と集落外の人とのネットワークを再構築し、集落運営の一員となってもらおう仕組みとしての『ふるさと応援団』づくりに取り組んだ。この活動実績から、その方法の効果や問題点を整理し、ノウハウを蓄積、普及し、将来的には他の集落へも支援を広げていく活動としての可能性を検証した。

具体的には、当センターが情報収集や名簿管理や情報発信などの事務局機能の一部を担い、地元行事への参加などの交流イベントの実施、広報やHPなどによるふるさとの情報提供、スノーバスターズなどの集落の維持活動への参加など、都会に住んでいてもふるさとと関われる仕組みづくりを行い、地域づくりに参加できる機会の提供体制を構築した。

平成 22 年度は、モデル地域として、西和賀町小繋沢地区、葛巻町冬部地区、田野畑村明戸集落の 3 箇所で開催した。取り組みの結果として、情報誌とともに同封した返信用はがきに書かれた出身者からの応援の言葉や、「ふるさと宅配便」の注文が、地域を励まし、今後も地域作りに取り組んでいく意欲が高まった。東日本大震災の災害により被災を受けた明戸地区では、

### 〔今後の予定〕

平成 22 年度に取り組んだ地域においては、今後も情報誌の発行や HP の更新を中心に支援を継続していく予定だが、少しずつ地域が取り組んでいける体制にしていきたい。

また、他の地域に対しても、地域づくりの継続を促す取り組みとして、「ふるさと応援団づくり」に取り組んでいきたい。



葛巻町冬部地区「けっけだしてける」

# 冬部お助け隊大募集!

冬部小学校の跡地をみんなで協力してリフォームしませんか?

## 1 図書室づくり

中学校の図書室を冬部小学校跡地に運び、図書室を作る計画があります!

みんなで協力して運びましょう!



写真はイメージです。詳細は下記問合せ先へ

## 2 昭和ロマン展示室づくり

音楽がいっぱいなどを集めて展示したいと思っています。

昭和を思い出す品々の奇跡を随時大募集しています!



写真はイメージです。

●時間: 13:00集合(冬部小学校跡地) 13:30~16:00図書室づくり 17:00~打ち上げ(冬部サロ)

●打上会費: 1,000円

打上げ時刻はサロにて宿可能です! お申し込み下記問い合わせ先へ

## 今後の活動予告

### ふるさと宅配便 第1弾

冬部でつくった特産品や加工品を私たちの手でお送りします。ぜひ、ふるさとの味を味わってください。売り上げの一部は、冬部の地域づくりの活動に使させていただきます。(送料別)

冬部セット 1箱 3,000円  
(へちま団子、はなもち等)

ふるさと宅配便は、ふるさとを味わって、ふるさとを応援する。ふるさとを味わって、ふるさとを応援する。ふるさとを味わって、ふるさとを応援する。

### ホームページを立ち上げます

冬部の現状や、最近の活動、地元のお宝、移住情報などを随時発信していきます。ホームページを立ち上げます。活動の様子を写真で見ることができたり、冬部に住む人の現在の声を知ることができたり、ぜひアクセスしてください!

<http://furusato.iwasen.net/>

### お便りをお送りします

今回お送りした「冬部のたより」を今後もお届けしていきたいと考えています。冬部で行った活動の様子や、今後の活動予定、などをお知らせしていきます!

郵送を希望しない方は、返信用ハガキにその旨を記載して投函下さい。

お問い合わせ\*連絡先 冬部の里づくり委員会 サロンチーム事務局 外平広志

〒028-5401 葛巻町田部字市部内3-9 (事務局自宅)  
Tel&Fax 0195-66-1520 (事務局自宅、FAX専用)  
メール iwasen@w9.dion.ne.jp (NPO事務局)

2011年3月23日発行  
発行所/冬部の里づくり委員会 サロンチーム 〒028-5401 葛巻町田部字市部内3-9  
企画・編集/NPO法人いわて地域づくり支援センター 〒025-0005 若手県花巻市花巻9-24  
E-mail iwasen@w9.dion.ne.jp TEL/FAX 0195-26-2187

# 冬部 けっけだしてける

第2号



冬部の風景で、冬部を思い出してほしいという願いです。



冬部里づくり委員会 サロンチーム 事務局 外平 広志

## お知らせ

この度の大震災、大変な状況となっておりますが、皆さまご無事ですか?冬部地区は特に被害もなく、みな元気で暮らしておりますので、安心していただければと思います。このような時ですが、冬部が無事であること、そして今こそ地域としての絆を強めたいと思い、「けっけだしてける」の第2号を発行いたしました。創刊号に対しては、多くの皆さまからのお便りをいただき、大変助まりました。ありがとうございます。いただいたお便りなどは、地区の回覧などでみんなに見てもらえるようにしているので、今後ともありましたら、ご連絡をいただければ幸いです。

## 東北・関東大震災、冬部は被災なし。

3月11日の午後2時46分に発生した大地震とその後の大津波により、若手県内外の沿岸を中心に大きな災害が発生しています。



第2号の内容について話し合うサロンチーム他の様子。

皆さまの中にも被災されたり、不自由な生活を送っている方もいらっしゃるかと思います。心より一日も早い復旧と復興をお祈りしています。

冬部地区は、2日間停電をしのいで、幸い、怪我人もなく、家や道路なども無事です。ガソリンが不足しており、なかなか外出に不自由をしていますが、みんな元気で過ごしていますので、ご安心ください。

\*\*\* \*\*

ただ、創刊号でご注文いただいた「ふるさと便」ですが、3月12日に手作りし、発送する予定でしたが、流通状況が滞っていることから、いまだに制作と発送ができないしております。大変申し訳ありません。



「ふるさと宅配便」を準備する予定だったふるさと便の準備の様子。小笠原地区に作った印刷機。

発送できる体制が整いましたら、手作りし、お送りする予定ですので、もう少しお待ちいただければと思います。

この事業は、平成22年度若手県議員モデル事業の助成を受けて、特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センターと協力して取り組んでいます。

西和賀町小繋沢地区「まめでらが〜」

## 今後の活動予告

### イベントに参加しませんか?

2月12日(土)に、西和賀町全体で「雪あかり」が開催されますが、それに合わせて、小繋沢でも若手県大の学生さんなどを招いて、交流会を行います。ぜひ、ご参加ください。

平成23年2月12日(土)  
小繋沢の「雪あかり」  
17:00 点灯 18:00 交流会

### スノーパスターズ募集中!

小繋沢地区の雪ほりをお手伝いする「スノーパスターズ」を随時募集しています。雪ほりは、毎月第1日曜日に実施しているので、ぜひお手伝いをお願いします!

毎月第1日曜日 「雪ほり」

### ふるさと宅配便 第1弾

「ふるさと宅配便」とは、小繋沢で採れた特産品や加工品を私たちの手、みなさまへお送りします。ぜひ、ふるさとの味を味わってください。売り上げの一部は、小繋沢の地域づくりの活動に使させていただきます。

- 1) 大根の一本漬け 1/2本 200円 (送料別)
- 2) 切干大根 50g 250円 (送料別)
- 3) 小繋沢そば粉 300g 500円 (送料別)

ご希望の方は同封の返信用ハガキにてお申し込みください。全て先着順です。なくなり次第終了となりますのでご了承ください。

## 委員会の活動

### ホームページを立ち上げます

小繋沢の現状や、最近の活動、地元のお宝、移住情報などを随時発信していきます。ホームページを立ち上げます。活動の様子を写真で見ることができたり、小繋沢に住む人の現在の声を知ることができたり、ぜひアクセスしてください!

<http://furusato.iwasen.net/>

### お便りをお送りします

今回お送りした「繋の郵便」を今後もお届けしていきたいと考えています。小繋沢で行った活動の様子や、今後の活動予定、などをお知らせしていきます!

郵送を希望しない方は、返信用ハガキにその旨を記載して投函下さい。

### 小繋沢の仲間を探しています

私たちは、もっと多くの小繋沢出身の方々に、小繋沢の情報を届けたいと考えています。ですが、現在の委員会のデータだけでは、情報をお届けできるのは一部の方に限らせてしまっています。もしご連絡のつ方がいらっしゃる場合は、まずこの「まめでらが〜」やHPの事を伝えてください!

# まめでらが〜 創刊号



繋の里づくり委員会 委員長 中島 雄郎 (小繋沢地区協議会会長)

## お知らせ

小繋沢では今年も雪がたくさん降り、積雪は1m20cmを超える所も多く出ました。皆さま、変わらずにお元気で過ごして下さいますか?冬部地区では、3年前から、地域で暮らして、安心して暮らしていただける環境をつくることを目的に、「繋の里づくり委員会」を立ち上げ、さまざまな活動を行っています。いつか「西和賀に帰って来たい」と思ったときに帰ってこられる「ふるさと」でありたいと思っています。ぜひ、皆さまには「ふるさと応援団」の一員として温かく見守り、時には活動に参加いただければなおありがたいです。これからも、「ふるさと小繋沢」をよろしくお願ひします。

## 「小繋沢・ふるさと応援団」を大募集

小繋沢も、年々高齢化と少子化が進んでいますが、小繋沢自治会ではさまざまな地域づくり活動に取り組み、これらも明るく元気に暮らしていきたいと頑張っています。



「ふるさと応援団」とは、小繋沢から離れて暮らす小繋沢の出身者の皆様と集結のつながりをつくり、離れて暮らしていても、小繋沢を変えてくれるサポーターを意味します。出身者の皆様にも小繋沢の今の姿や地域づくり活動を知っていただき、可能な範囲で活動へ参加いただければ幸いです。また、「ふるさと応援団」のつながりがいつか小繋沢に帰りたいと思ったときに、安心して帰ってこられる、そんなつながりになればと考えています。



2006年6月28日 クラビのの様子

また、返信用ハガキを同封しております。この活動へのご感想や、小繋沢に住む私たちにへの応援の言葉をぜひお寄せください。これからの活動にしたいと思っています。



2010年11月23日 収穫祭の様子

この事業は、平成22年度若手県議員モデル事業の助成を受けて、特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センターと協力して取り組んでいます。

お問い合わせ 連絡先 繋の郷づくり委員会  
〒029-5521 若手県西和賀町小繋沢55-9-6 (委員長自宅)  
TEL 0197-81-1722 (にしわがネットプラザ)  
FAX 0197-81-2187 (小繋沢事務局)  
メール junichi-t@nishiwaga.net (小繋沢事務局)

2011年1月17日発行  
発行所/繋の郷づくり委員会 〒029-5521 若手県西和賀町小繋沢55-9-6  
企画・編集/NPO法人いわて地域づくり支援センター 〒025-0005 若手県花巻市花巻9-24  
E-mail iwasen@w9.dion.ne.jp TEL/FAX 0195-26-2187

田野畑村明戸集落「おすばらく」

### 今後の活動予告

**イベントに参加しませんか?**

**熊野神社のお祭り兼敬老会  
4月29日頃**

毎年行っている行事ですが、今年のお祭りと敬老会を行う予定のワークに重なります。実施は、現時点では不明です。

運びに来てください。お知らせします。

**ホームページをやっています**

明戸の現状や、最近の活動、地元のお宝、移住情報などを随時発信していきます。ホームページを立ち上げます。

活動の様子を写真で見ることができたり、明戸に住む人の現在の声を知ることができます。ぜひアクセスしてください!

<http://furusato.iwasato.net/>

**お便りをお送りします**

今回お送りした「おすばらく」を今後もお届けしていきたいと考えています。

明戸で行った活動の様子や、今後の活動予定などをお知らせしていきます!

郵送して欲しくない方は、お手数ですが、下記連絡先へご連絡下さい。


次号は3月下旬ごろ発行予定です。お楽しみに!

次号特集 「明戸の食と祈りの風習」

**明戸の仲間を探しています**

私たちは、もっと多くの明戸出身の方に、明戸の情報をお届けしたいと考えています。ですが、現在の自治会のデータだけでは、情報をお届けできるのは一部の方に限られてしまっています。

もしご連絡のつく方がいらっしゃる場合は、まずこの「おすばらく-田野畑村明戸の情報誌-」やHPの事を伝えてください!



【おすばらく】とは、明戸の方で「ふるさと」づくりをします。

大晦日から元旦にかけて岩手県内は大雪で、明戸にも雪が降り、今年は寒くて雪の多い冬かと心配をしましたが、2月に入ると急に暖かくなり、いつもよりも春が早く訪れるような予感があります。明戸では寒締めホウレン草、様ミツがも終盤に入り、今は雨よけホウレン草、3月にはお米もスタートします。

みなさま、おすばらくです。そくさいでいますか? 昨年共に「おすばらく」創刊号をお送りしてから、応援の言葉などもいただき、励まされました。第2号もお楽しみいただければ嬉しいです。そしてまた、声を聞かせてください。

**「ふるさと宅配便」お届けします。**

出身の方にふるさとのなつかしい味を食べてもらって、明戸を懐かしんでもらいたいという思いと、明戸に住む私たちの活力につながるようにという思いから、明戸で採れた、明戸のじいやんやばあやんがつくったふるさとの味をお送りする活動を始めました。

「ふるさと宅配便」です。

売り上げの一部は明戸の地域づくりの活動費に充てさせていただきます。なつかしい節句の折、親しいご友人や家族への贈り物などに使ってみませんか?

今回は、返信用の封筒を同封しました。ご注文は葉書に記入し、ご投函ください。

「こんな食べ物、送ってもらえないか?」などの要望も、じゃんじゃんお聞かせください。

No.	商品名	金額 (送料別)
1	やませの谷の明戸米 (あきたこまち) 3kg	
2	干しシイタケ 100g	
3		
7		
8		

※送料は別となります。実費分のご負担をお願いします。

※お支払いは、商品到着後、お振込にてお支払いいただきます。

※ご要望にも可能な限り、対応したいと思います。お気軽にご連絡ください。

この事業は、平成16年度岩手県協賛モデル事業の助成を受けて、特定非営利活動法人いわて地づくりに依頼して取り組んでいます。

お問い合わせ 連絡先 明戸自治会

郵 送 〒028-8402 岩手県田野畑村明戸55番地 (会長自宅)

TEL 0194-33-2481 (会長自宅)

FAX 0198-24-2187 (NPO事務所内)

メール iwason@w9.dion.ne.jp (NPO事務所内)

明戸への応援メッセージや、「おすばらく」HPのご感想もお待ちしております!

田野畑村明戸の情報誌 おすばらく 2011年3月 日発行

発行所/田野畑村明戸自治会 〒028-8402 岩手県田野畑村明戸55番地 TEL 0194-33-2481

企画・編集/NPO法人いわて地づくりに依頼センター 〒025-0005 岩手県花巻市田力9-24

E-mail iwason@w9.dion.ne.jp TEL/FAX 0198-26-2187

③ 浮田・崎浜の「食と交流」によるふるさとづくり支援

花巻市東和町浮田地区と大船渡市三陸町崎浜地区は、平成19年度から、農林水産省の助成金を受けて、里と海の集落の交流活動に取り組んでおり、センターも引き続き、活動支援を行った。

主な活動として、各種実践活動に参加するほか、2月27日に「海と里の交流セミナー ～交流からうまれる食卓と地域づくり～」の開催を支援した。

〔今後の予定〕

崎浜集落は、今回の震災により大きな被災を受けた。今後も浮田との交流を続け、復興支援に取り組む予定である。

〔活動の様子〕

梅津末子先生の料理教室



昼食と交流



結城登美雄先生の公演と車座トーク



### 3. 主な事業の紹介（調査研究事業）

#### ④ 田野畑村総合交通体系の実現支援

田野畑村では、平成 22 年 4 月から 6 つの小学校が 1 つに統合となるのに合わせて、村民バスとスクールバスを一体化した『たのはた総合バス』の運行を開始した。また、平成 21 年度から引き続き、昼間に主に高齢者の通院をサポートするデマンド型交通を運行しており、平成 22 年度は、それらの運行の広報や効果調査、ホームページの運営、住民協働推進のための調査等を行った。

また、国土交通省の支援事業「地域公共交通活性化事業」の 2 年目として、主に観光二次交通の充実を図るための実証運行の検討を行った。

〔今後の予定〕

平成 23 年度は、国土交通省の支援事業「地域公共交通活性化事業」の最終年（3 年目）として、観光二次交通の実証運行に取り組む予定であったが、三陸鉄道駅が流されるなど大きな被害を受け、現時点でも復旧の見込みは立っていない。そのため、復旧段階に合わせた運行支援や代替バスの運行に関する情報提供等に取り組んでいく。

デマンド型交通「くるもん号」



総合バス「タノくんバス」



#### ⑤ 七戸十和田駅の公共交通案内製作

平成 22 年 12 月 4 日から、東北新幹線は青森まで延伸した。七戸町には、新たに「七戸十和田駅」が新設されたが、これまでの十和田市で取り組んだ関係から、新駅のバスターミナルのバスの案内表示や時刻表の作成と発行事業に取り組んだ。

〔製作した案内看板等〕

バス・タクシー案内板



バス停（本体及び掲示物）



七戸十和田駅発着バス時刻表



# 平成 22 年度 特定非営利活動に関わる事業会計 財産目録

平成 23 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

		《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金		27,012	
普通預金		2,160,998	
ゆうちょ銀行		(129,332)	
北日本銀行		(2,031,666)	
現金・預金計		<u>2,188,010</u>	
(売上債権)			
未収金		7,817,650	
売上債権計		<u>7,817,650</u>	
(その他流動資産)			
立替金		33,840	
仮払金		20,520	
その他流動資産計		<u>54,360</u>	
流動資産合計			<u>10,060,020</u>
資産の部 合計			<u>10,060,020</u>
		《負債の部》	
<b>【流動負債】</b>			
未払金		4,223,235	
短期借入金		3,500,000	
預り金		143,119	
雇用保険料		(36,480)	
社会保険料		(61,219)	
源泉所得税		(45,420)	
仮受金		1,728,078	
若菜千穂		(1,728,078)	
未払法人税等		204,200	
未払消費税		476,700	
流動負債計		<u>10,275,332</u>	
負債の部 合計			<u>10,275,332</u>
正味財産			<u>△ 215,312</u>



# 平成 22 年度 特定非営利活動に関わる事業会計 貸借対照表

平成 23 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	27,012
普通預金	2,160,998
ゆうちょ銀行	(129,332)
北日本銀行	(2,031,666)
現金・預金 計	2,188,010
(売上債権)	
未収金	7,817,650
売上債権 計	7,817,650
(その他流動資産)	
立替金	33,840
仮払金	20,520
その他流動資産 計	54,360
流動資産合計	10,060,020
資産の部 合計	10,060,020
《負債の部》	
【流動負債】	
未払金	4,223,235
短期借入金	3,500,000
預り金	143,119
雇用保険料	(36,480)
社会保険料	(61,219)
源泉所得税	(45,420)
仮受金	1,728,078
若菜千穂	(1,728,078)
未払法人税等	204,200
未払消費税	476,700
流動負債 計	10,275,332
負債の部 合計	10,275,332
《正味財産の部》	
【正味財産】	
正味財産	△ 215,312
(うち当期正味財産増加額)	337,120
正味財産 計	△ 215,312
正味財産の部 合計	△ 215,312
負債・正味財産合計	10,060,020

## 平成 22 年度 特定非営利活動に関わる事業会計 収支計算書

今期は、経常収支差額が約 42 万円プラスとなりました。しかし、前期繰越正味財産額である 55 万円のマイナス分と合わせて、当期正味財産の合計はマイナス 21 万円となりました。

次期も引き続き事業の質を重視しながら、健全な経営への回復を目指します。

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

科 目	金 額	
<b>[経常収入の部]</b>		
<b>I 経常収入の部</b>		
<b>1 会費・入会金収入</b>		
入会金収入	0	
正会員会費収入	45,000	45,000
<b>2 事業収入</b>		
1. 西和賀エコミュージアム事業 地元学実施指導業務	449,000	
2. 浮田地区コミュニティ会議地域計画策定支援業務	124,950	
3. 谷内	90,000	
4. 明戸	120,000	
5. 内田ため池等生態系環境学習会委託業務	200,000	
6. 地域づくり講座開催業務委託	237,300	
7. 永井地区講演グラウンドワーク業務	329,700	
8. 浮田崎浜	92,400	
9. 提案公募型県民協働モデル事業	1,000,000	
10. 田野畑村の公共交通活性化再生支援事業	3,040,000	
13. 北上市地域公共交通連携計画策定調査事業	2,991,450	
14. 平成22年度県民協働型評価業務	531,300	
15. おいらせ調査	79,800	
16. 「七戸十和田駅」を中心とした公共交通時刻表作成業務	2,190,552	
17. 七戸十和田地域乗り物・観どころマップ製作業務	915,600	
18. 七戸町乗り物・お出かけマップ製作業務	642,600	
19. 七戸十和田駅南駅前広場二次交通サイン製作業務	3,727,500	
20. 地域生活交通再生ミッションナリー育成・活動業務の内、 住民アンケートデータの入力・集計補助	199,500	
21. 十和田バス 雑収入	47,460 57,681	17,066,793
<b>3 寄付金収入</b>		
寄付金	0	0
<b>4 受取利息収入</b>		
受取利息収入	276	276
経常収入 計		17,112,069
<b>II 経常支出の部</b>		
<b>1 事業費</b>		
1. 西和賀エコミュージアム事業 地元学実施指導業務	472,949	
2. 浮田地区コミュニティ会議地域計画策定支援業務	219,715	
3. 谷内	146,667	
4. 明戸	146,300	
5. 内田ため池等生態系環境学習会委託業務	230,600	
6. 地域づくり講座開催業務委託	235,836	
7. 永井地区講演グラウンドワーク業務	67,000	
8. 浮田崎浜	103,495	
9. 提案公募型県民協働モデル事業	1,220,060	
10. 田野畑村の公共交通活性化再生支援事業	3,026,650	
13. 北上市地域公共交通連携計画策定調査事業	3,007,648	
14. 平成22年度県民協働型評価業務	394,766	
15. おいらせ調査	67,545	
16. 「七戸十和田駅」を中心とした公共交通時刻表作成業務	1,704,903	
17. 七戸十和田地域乗り物・観どころマップ製作業務	751,511	
18. 七戸町乗り物・お出かけマップ製作業務	326,613	
19. 七戸十和田駅南駅前広場二次交通サイン製作業務	3,161,459	
20. 地域生活交通再生ミッションナリー育成・活動業務の内、 住民アンケートデータの入力・集計補助	118,320	
21. 十和田バス	23,100	15,425,137

<b>2 管理費</b>			
給料 手当	163,750		
役員 報酬	120,000		
アルバイト給料	23,400		
通 信 費	7,610		
旅費交通費	45,910		
会 議 費	3,677		
調査費	3,699		
事務用消耗品費	57,675		
外 注 費	55,400		
修 繕 費	68,166		
租税 公課	777,900		
諸 会 費	5,000		
支払手数料	3,150		
雑 費	14,475	1,349,812	
経常支出 計			16,774,949
経常収支差額			337,120
<b>IIIその他資金収支の部</b>			
<b>1 その他資金収入</b>			
繰入金収入	0	0	
その他資金収入 計			0
<b>IVその他資金支出の部</b>			
<b>1 その他資金支出</b>			
繰入金支出	0	0	
その他資金支出 計			0
当期収支差額			337,120
前期繰越収支差額			△ 552,432
次期繰越収支差額			△ 215,312
<b>[正味財産増減の部]</b>			
<b>V 正味財産増加の部</b>			
<b>1 資産増加額</b>			
当期収支差額		337,120	
<b>2 負債減少額</b>			
負債減少額		0	
増加額 計			337,120
<b>VI 正味財産減少の部</b>			
<b>1 資産減少額</b>			
資産減少額 (再掲)		0	
<b>2 負債増加額</b>			
負債増加額		0	
減少額 計			0
当期正味財産増加額			337,120
前期繰越正味財産額			△ 552,432
当期正味財産合計			△ 215,312

## 平成 23 年度 役員名簿

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

役名	氏 名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた 期間
理事	廣田 純一	岩手県盛岡市黒石野二丁目 7 番 34 号	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	同左
理事	三宅 諭	岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目 3 番 13-202 号	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	平松 千穂	岩手県花巻市田力 第 9 地割 24	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	同左
理事	高井 昭平	東京都千代田区三番町 14-401 号	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	津村 厚生	岩手県盛岡市西松園四丁目 16 番 10 号	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	佐藤 重昭	岩手県盛岡市仙北一丁目 13 番 13 号	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	菅原 由紀	岩手県盛岡市緑が丘一丁目 15 番 21 号	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	細田真理子	岩手県盛岡市材木町 6 番 14	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	竹花 清	岩手県盛岡市厨川 4 丁目 3 番地 4-208	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
理事	大瀧英知	岩手県滝沢村牧野林 1048 番 13	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無
監事	向井田善朗	岩手県八幡平市大更 第 7 地割 87 番地 5	22 年 4 月 1 日 ～23 年 3 月 31 日	無

## 平成 23 年度 社員のうち 10 名以上の名簿

平成 23 年 3 月 31 日現在  
特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

氏 名	住所又は居所
廣田 純一	岩手県盛岡市黒石野二丁目 7 番 34 号
三宅 諭	岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目 3 番 13-202 号
平松 千穂	岩手県花巻市田力第 9 地割 24
高井 昭平	東京都千代田区三番町 14-401 号
津村 厚生	岩手県盛岡市西松園四丁目 16 番 10 号
佐藤 重昭	岩手県盛岡市仙北一丁目 13 番 13 号
菅原 由紀	岩手県盛岡市緑が丘一丁目 15 番 21 号
細田真理子	岩手県盛岡市材木町 6 番 14
竹花 清	岩手県盛岡市厨川 4 丁目 3 番地 4-208
大瀧英知	岩手県滝沢村牧野林 1048 番 13
向井田善朗	岩手県八幡平市大更第 7 地割 87 番地 5